

【生徒の実態】

	第1学年	第2学年	第3学年
学力分析	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動においては、歌唱に意欲的に取り組むことができる。 ・文章表記(鑑賞ノート)については、取り組めない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスによって雰囲気は異なるが、前向きな姿勢の生徒が多い。 ・楽典(音符と休符の長さの割合、諸記号)は、理解している生徒と課題のある生徒に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動において、意欲的に取り組める生徒が多い。 ・楽典の理解に関しては、課題のある生徒が見られる。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての音楽活動に前向きに取り組んでいるが、楽典(音符と休符の長さの割合など)を理解するのに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新曲にも意欲的に取り組む。歌唱活動において、リーダーが現れてきた。 ・提出物等はしっかりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・響きのある声を工夫するリーダー的な生徒が雰囲気を作っている。 ・主体的に活動できる生徒が増えてきている。
生徒アンケートの結果より	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動は雰囲気が重要なので、心を開放させて伸び伸び活動できるようにする。 ・楽典(音符と休符、記号など)に関しては、理解が困難な生徒のことを考え、丁寧に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動を通して、リーダーの育成ができるよう助言をする。 ・楽典については、理解の困難な生徒のための手だてを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より高い芸術性を目指す生徒の意欲を引き出す工夫をする。 ・楽典についての解説が急ぎ足になると、理解に結びつかない場合が多くなるので、ていねいに行う。

【授業改善の手だて】

	第1学年	第2学年	第3学年
改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱を丁寧にを行い、響きのある歌声を感得させ、それを実践する意欲を育てる。 ・楽典の知識について、合唱曲集や教科書を利用し、定期的に確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の意欲を喚起するべく、範唱範奏、明るく開放的な雰囲気をつくる。 ・楽典の知識について、合唱曲集や教科書を利用し、定期的に確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声の響き、曲想を意識して歌唱表現するような技術的な助言をしながら指導する。 ・楽典の知識について、合唱曲集や教科書を利用し、定期的に確認する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストにて、個々の歌唱力を評価する。 ・定期考査に出題して理解度を確認し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストにて、個々の歌唱力を評価する。 ・定期考査に出題して理解度を確認し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストにて個々の歌唱力を評価する。 ・定期考査に出題して理解度を確認し、評価する。